

【マクロ経済】

・クワチャ高は投資家の信頼感を反映

ジョセフ・ルング大統領特別補佐官は、最近のクワチャ高騰は、ヒチレマ大統領政権下での投資家の信頼の高まりと堅実な経済運営の直接的な結果であると表明(Daily Nation 8 月 2 日)。

・IMF、ザンビアに 1 億 8400 万ドルの支援を承認

国際通貨基金(IMF)は、ザンビアの 38 か月間の拡大信用ファシリティ(ECF)プログラムの第 5 次レビューを承認し、約 1 億 8,400 万米ドルの即時支払を可能にした(Daily Nation 8 月 7 日)。

・ザンビアの GDP 対債務比率は低下へ

IMF(国際通貨基金)はザンビアの国内総生産(GDP)対債務比率が 7 年ぶりに減少すると予測。2025 年 12 月までに 91.1%になる見込み(Times of Zambia 8 月 7 日)。

・鉱業が為替高を牽引

2025 年第 2 四半期、ザンビアにおける外貨流入の主な源泉は鉱業セクターであり、収入は 22.1%増の 6 億 8,010 万米ドルに達した(Daily Nation 8 月 15 日)。

・ザンビア中央銀行の外貨準備高、クワチャ高騰で 47 億ドルに到達

ザンビア中央銀行はクワチャが米ドルに対して 14.4%上昇したことにより、2025 年 6 月時点の国際準備金総額が 47 億米ドル(輸入額の 4.6 か月相当)に増加したと報告(Times of Zambia 8 月 16 日)。

・ザンビア、GDP 成長率で世界トップへ

ブルームバーグの最新の経済予測によると、2025 年のザンビアの GDP は、6%を超える急速な成長が見込まれている。これは 4%だった 2018 年以来の最高値(Daily Mail 8 月 16 日)。

【エネルギー】

・BB エナジー、ザンビアでのプロジェクトを通じて太陽光発電市場に参入との報道

これまで化石燃料に注力してきた英 BB エナジーは、エネルギー移行戦略の一環として南部アフリカの太陽光発電市場に参入。同社は、ザンビア・マイロにおいて 25MW の太陽光発電所を立ち上げたとされている(Daily Nation 8 月 2 日)。

・IMF の燃料政策がザンビアに打撃

チコテ・エネルギー大臣は、国際通貨基金(IMF)が要求する TAZAMA 石油パイプラインのオープンアクセス政策の実施は国内のディーゼル供給の安全性を脅かしているとの認識を表明(Daily Nation 8 月 2 日)。

・軽油不足の危機が深刻化

エネルギー規制委員会(ERB)は、8 月 20 日時点で全国約 123 か所のガソリンスタンドで軽油が完全に枯渇し、国が深刻なエネルギー危機に陥っていると表明(Daily Nation 8 月 21 日)。

【鉱業】

・FQM、地元サプライヤーに 2 億 9400 万ドルを投資

ファースト・クオンタム・ミネラルズ (FQM) の、ザンビア企業からのサービスや物品調達の総額が 2022 年の 1 億 4,400 万米ドルから 2024 年には 2 億 9,400 万ドルに倍増 (Times of Zambia 8 月 4 日)。

・米国、鉱滓流出を受け、キトウェ在留米国人に即時撤退を呼び掛け

チャンビシにあるシノ・メタルズ鉱山の鉱滓流出による深刻な環境汚染の発覚を受け、米国政府はキトウェ及び周辺地域からの全職員の即時撤退を命じた (Daily Nation 8 月 7 日)。

・「キトウェの汚染に懸念は不要」とシンカンバ氏

シンカンバ緑の党代表は、シノ・メタルズ鉱山の鉱滓流出事故の影響を受けたキトウェ及び周辺地域から自国職員を撤退させるとする米政府の決定は不必要な警戒であると表明 (Daily Mail 8 月 7 日)。

・モパニ、年間銅生産量 22 万 6000 トンという野心的な目標達成を目指す

モパニ銅山の CEO は、ミンドラ拡張プロジェクトが完了すると銅生産量は年間 22 万 6000 トンへの増加が予想され、経済への貢献が大幅に向上すると発言 (Daily Nation 8 月 8 日)。

・ザンビア、重要鉱物ブームへの道筋を描く

ザンビアは、世界のクリーンエネルギー移行における将来の主要国としての地位の確立を目指すため、同国の需要鉱物における膨大な可能性に焦点を当てた新たなガイドを発表 (Daily Nation 8 月 8 日)。

・KCM、銅生産量 15 万トンの見込み

コンコラ銅山 (KCM) は約 4 億米ドルを投入、ベダント・リソーシズから 10 億米ドルの資金提供を受け、今年は 15 万トンの銅を生産する予定 (Times of Zambia 8 月 11 日)。

・バリック銅山社、生産量 34%増

バリック鉱山社は、ザンビアのルムワナ事業における採掘率向上により、2025 年第 2 四半期の銅生産量が前四半期比で 34%増加と表明 (Daily Mail 8 月 13 日)。

・ZCCM-IH、鉱業とエネルギーに 2 億ドルを投資

ZCCM インベストメンツ・ホールディングスは、過去 2 年間でザンビアの鉱業とエネルギーに約 2 億ドルを投資し、工業開発公社 (IDC) と国民年金制度に合計 3 億 9,840 万クワチャの配当金を支払った (Daily Mail 8 月 14 日)。

・政府、環境汚染抑制のため鉱山操業を監視へ

ンゾヴ水資源開発・衛生大臣は、市民を汚染物質から守るため、鉱山会社が操業している地域の小川、河川等の環境を汚染しないよう厳重に監視すると表明 (Daily Nation 8 月 15 日)。

・政府、カセンパにある中国系鉱山 2 か所を操業停止

政府は、鉱山・鉱物開発省主導の査察を受け、金や銅を含む鉱石の違法処理のため、カセンパにある中国系鉱山 2 か所の操業を停止 (Daily Mail 8 月 20 日)。

【インフラ】

・ボツワナ、カズングラ橋建設計画について保証

ボツワナ政府は、カズングラ橋建設プロ

プロジェクトに関する全ての懸案を解決するため、ザンビアと緊密に協力することを約束(Times of Zambia 8月1日)。

・KCM 社、800 万ドル超の道路改修プロジェクトを開始

コンコラ銅山(KCM)社は、チリラボンブウェ、チンゴラ、シブユンジ郡で810万米ドルの道路改修プロジェクトに着手(Sunday Mail 8月10日)。

・政府、10 億ドル規模の鉄道改修を計画

ミルピ・インフラ住宅・都市開発大臣は、道路輸送への負担軽減のため、ザンビア鉄道の再建に向けた野心的な計画を発表(Times of Zambia 8月10日)。

・政府、TAZARA との譲許契約締結へ

ムソコトワネ・財務・国家計画大臣は、政府がタンザニア・ザンビア鉄道公社(TAZARA)の事業活性化を支援するため、TAZARA との譲許協定に署名すると表明(Daily Mail 8月12日)。

・ルアブラ、大変革の兆し

ルアブラ州は、ムウェンセ郡のルアブラ橋及びカシバ道路並びにムウエンダ道路の建設による大変革が見込まれる(Times of Zambia 8月12日)。

・13 億クワチャの道路建設契約締結

政府は、南部州とルアブラ州の2つの主要道路建設整備のため、中国土木工程有限公司(CCECC)と13億クワチャを超える契約に署名(Times of Zambia 8月15日)。

【対外関係】

・エジプト訪問で5 億ドルの成果

ハインベ外務・国際協力大臣は、今年2

月にヒチレマ大統領がエジプトを公式訪問したことにより、5億米ドルの民間投資の約束が得られたと議会で表明(Times of Zambia 8月1日)。

・UPND、物議を醸した News Diggers 紙の中国に関するドキュメンタリーについて発言

与党国家開発統一党(UPND)のメディア担当者は、地元タブロイド紙が最近放映したドキュメンタリーは内容が偏向しているとして、歪んだ報道に懸念を表明(Daily Mail 8月1日)。

・日本、稲作振興事業を拡大

日本政府はザンビアにおける稲作振興への支援を更に3年延長(Times of Zambia 8月1日)。

・アフリカ内貿易は安価

ヒチレマ大統領は、アフリカ内貿易は大陸での資本の循環を確保し、他の事業の発展を促す、モノ・サービスを域外から輸入するより大陸内で貿易する方が安上がりであると発言(Times of Zambia 8月2日)。

・農業の輸出力を強化すべし

ザンビアを訪問中のボコ・ボツワナ大統領は、アフリカ域内貿易を促進し、再生型で公平な成長モデルを開拓するための広域的な戦略として、ボツワナとザンビアが農業セクターを輸出志向で気候変動に強いものへと転換するよう呼びかけた(Sunday Mail 8月3日)。

・ザンビア、2025 年上半期の観光客数 120 万人を記録

シクンバ観光大臣は、2025 年上半期の国際観光客到着数が前年同期の110万人から増加し、120 万人に達したと発表

した(Daily Nation 8月4日)。

・タヤリ運輸相、内陸開発途上国に開発計画の整合性を要請

タヤリ運輸・ロジスティクス大臣は内陸開発途上国(LLDC)に対し、回廊をより広範な経済成長の原動力とするために、自国の国家開発計画を地域的及び世界的な取組と整合させるよう促した(Times of Zambia 8月7日)。

・ザンビアとジンバブエ、カリバにおける共同ブルー戦略を発表

ザンビアとジンバブエは、カリバ湖の漁業と養殖業のサブセクター強化を目的としたカリバ湖ブルーエコノミー戦略及び投資計画を共同で立ち上げた(Daily Mail 8月8日)。

・政府、COMESA 加盟国に対しパートナーシップ強化を要請

ザンビア政府は、東南部アフリカ市場共同体(COMESA)加盟国に対し、地域全体の持続可能な農業変革の達成を目指した強力かつ戦略的なパートナーシップの構築を要請(Daily Mail 8月11日)。

・アンゴラ貿易ミッション、3,010 万ドルの商取引を獲得

ザンビア開発庁(ZDA)は、アンゴラへの最近の貿易ミッションが 3,010 万米ドルの商取引をもたらし、大きな成功であったと表明(Times of Zambia 8月12日)。

・ザンビアとカタール、11 の経済分野で 190 億ドルの取引に署名

ザンビアは、経済の 11 分野における協力を促進することを目的とした 190 億米ドルの覚書(MoU)に署名し、カタールから大規模な投資コミットメントを確保(Daily Nation 8月19日)。

【その他】

・IZB、気候変動に強い農業のため 4 億クワチャを拠出

インド・ザンビア銀行(IZB)は 2024 年の干ばつと進行中のエネルギー問題からの農業部門の回復を支援することを目的としたグリーン・ファイナンス活動の一環として、小規模農家と農業関連企業に 4 億クワチャ以上を拠出した(Daily Nation 8月5日)。

・ザンビア、第 8 次国家開発計画(8NDP)の柱で進展を記録

ザンビア政府は経済・社会変革アジェンダは着実に軌道に乗っており、第 8 次国家開発計画(8NDP)の全ての柱において具体的な進展がみられると表明(Daily Mail 8月18日)。

・ZEP-RE、アフリカで 1,609 億ドル規模の保険ブームを予測

アフリカの大手保険会社である ZEP-RE は、アフリカ大陸の保険市場が 2033 年までに 1,609 億米ドルに拡大し、年平均 6%の成長を遂げると予測(Daily Nation 8月20日)。

(了)